

# 学級懇談会

## ■ ねらい

グループでのゲームや懇談のシミュレーションを通して、教師と保護者や保護者同士によりよい関係を築くための雰囲気づくりや懇談会の進め方等のスキルを身に付けることができる。

- ・ 雰囲気づくりの方途や考え方
- ・ 懇談会の進め方についての姿勢・態度、考え方  
(傾聴・共感的理解の視点、自己開示の視点、自己主張の視点)

## ■ 研修時間

50分～90分(本プログラムは90分で記述)

## ■ 準備物等

- ① 雰囲気づくりシート      ② 話題設定カード

## ■ グループのつくり方

4～5人のグループを基本      グループ毎に輪になって着席

## ■ 流れ(90分)

### 1 導 入

(10分)

本日の研修のねらいと進め方を説明した後、学級懇談会の基本ポイントを説明します。

### 2 活 動 ①

(25分)

まず、バースデーチェーンを行い、グループに分かれ、その後、グループ毎に雰囲気づくりシートを参考にそれぞれチェーンのゲームを考えます。そして、それを参加者で行ってみます。

### 3 活 動 ②

(40分)

グループごとに、話題設定カードにより、テーマを決めて、懇談会の進め方について話し合い、懇談会のシミュレーションを行います。

- ① 話題設定カードによりテーマを設定する。
- ② グループで懇談会の進め方を話し合う。  
(進行の観点は、傾聴・共感的理解、自己開示、自己主張)
- ③ 2つのグループでシミュレーションを行う。
- ④ 3つの留意点からそれぞれのグループを評価してまとめる。

### 4 全体での分かち合い

(10分)

活動を振り返って、グループの意見を発表してもらいます。また、研修全体を通して感じたこと、気づいたことを全体で分かち合います。

### 5 ま と め

(5分)

ファシリテーターより、本日の研修をまとめます。その際、教育センターで調査した成功事例をもとに、学級懇談会での基本的姿勢について考えます。

## ■ 研修過程

	研修活動	研修上の留意点	資料等	形態	時間
導入	1 研修の目的を明らかにする。 ・ 雰囲気づくりの方途や考え方と進め方についての姿勢・態度、考え方についてという2つのねらいを確認する。	○ 教育センターでの調査事例を提示し、よりよい雰囲気での懇談ができるためには雰囲気づくりと進め方が大切であるという意識をもたせる。	研修の流れの提示	一斉	10
活動①	2 学級懇談会の雰囲気づくりに視点を当てた研修を行う。 (1) バースデーチェーンでグループを分ける。 ・ 無言で誕生日順に並ぶ ・ 答合わせ ・ グループ分け ・ 振り返り (2) グループに分かれて、チェーンのゲームを考え、実施する。 ・ 各グループでアイデアを出しながらゲーム等を行う。	○ ファシリテーターが気付いたこと、感じたことをコメントし、次の活動へつなぐ説明をする。  ○ 雰囲気づくりシートを参考にしながらアイデアを加えたり新たなゲーム等をつくったりするように説明する。	バースデーチェーンの説明  雰囲気づくりシート	一斉  4人や5人のグループ	25
活動②	3 学級懇談会の進め方に視点を当てた研修を行う。 (1) 話題設定カードによりテーマを設定する。 ・ 話題設定カードを選ぶ。 (2) グループで懇談会の進め方を話し合う。 ・ グループで役割を決めて進め方を話し合う。 (3) 2つのグループでシミュレーションを行う。 ・ とよりのグループと交互に行う。  (4) それぞれのグループを評価してまとめる。 ・ それぞれの考えが反映されるようにまとめる。	○ 話題設定カードから選んでもらう。  ○ 傾聴・共感的理解、自己開示、自己主張の3点から進行計画を話し合ってもらう。 ○ 進行するグループは役割分担等決めて進行する。もう一つのグループは、保護者役として参加する。 ○ 傾聴・共感的理解、自己開示、自己主張の観点から評価する。	話題設定カード ・ 家庭学習のさせ方 ・ 習い事について ・ お金の使い方 ・ 親子の会話 ・ 将来の夢等	4人や5人のグループ	40
分かち合い	4 それぞれのグループで、雰囲気づくりの仕方や懇談会の進め方などについて話し合う。	○ 懇談会の雰囲気づくりと進め方について、大切にしたい視点を示す。		グループ一斉	10
まとめ	5 今日の活動で、教師のスキルとして、懇談会の雰囲気づくりの視点や傾聴・共感的理解、自己開示、自己主張等の視点について話し合う。	○ 保護者との関係をもっとよくするための大切な視点や留意点について共通理解する。		一斉	5

## ファシリテーターの進行例

### 1 導入（学級懇談会の基本的ポイント）

（10分）

研修のねらいと進め方の説明



今日の研修ですが、保護者との信頼関係を高めるため、「学級懇談会」について、研修をします。研修を通して、学級懇談会の雰囲気づくりや進め方などについて、みなさんで考えていきましょう。

今日は、学級懇談会での雰囲気づくりの在り方について、まず、グループで雰囲気づくりシートを活用してもらい、その後、全体で話し合っていきます。また、学級懇談会の進め方について、話題設定を行い、シミュレーションをして進め方の留意点について話し合いたいと思います。

#### POINT 1

この研修内容は、教育センターの調査研究で集めた、保護者との人間関係が上手く行っている県内の先生方の事例を参考に作ったものです。それを前提に進めましょう。

#### POINT 2

この研修では、本校の実態には深入りせず、一般的な学級懇談会の進め方について研修します。特に、懇談会では、教師と保護者、保護者同士の雰囲気と懇談会の進め方が大切な要素です。本研修では、学級懇談会の在り方や進め方を見直す一つのきっかけとなればと考えています。

## 2 活動①（参加者同士の雰囲気づくり）

（25分）

### (1) バースデーチェーンでグループ分け

- ・ 無言で誕生日順に並ぶ
- ・ 答合わせ
- ・ グループ分け

まず最初に、グループ分けをします。一言も言わず、誕生日順に並んでください。一月一日に近い人から、教室の周りに大きな輪を作ってください。今から5分以内でお願いします。どうぞ！



それでは、答合わせを行います。最初の人から誕生日を言ってください。・・・全員正解でした。拍手！それでは、最初の人から6人ごとにA班、B班として席についてください。

#### POINT 1

ここでは、アイスブレイクをしながら、グループ分けをするという形で「バースデーチェーン」を行います。これは、単なるアイスブレイクではなく、学級懇談会の雰囲気づくりとしての導入にもなります。

#### POINT 2

答合わせでは、全員が正解の場合は、「さすがですね・・・」と、間違っている人も「間違いは1人だけでした」と褒める方がよいでしょう。

誕生日が研修日当日あるいは同じ週の場合、拍手で祝福するのもいいでしょう。

- ・ バースデーチェーンの振り返り（ファシリテーターからのコメント）



バースデーチェーンで、グループ分けをしました。ここで気づいたことや感じたことをお話ししたいと思います。

#### POINT

本来なら、「振り返り」で、受講者の気づきを、グループで話し合い、全員で分かち合う活動を行うのが効果的ですが、今回は、本活動が中心ではないので省略します。

しかし、ファシリテーターからコメントすることで単なるゲームで終わらないようにします。

- (2) 学級懇談会での雰囲気づくりとして、グループで〇〇チェーンのゲームをつくる  
 ・各グループでのゲームの内容の話し合い

次に、各グループでゲームの振り返りをしながら、雰囲気づくりの工夫について話し合います。



まず、各グループで、パースデーチェーンと同じように雰囲気づくりシートから〇〇チェーンを考えて、ゲームを行ってみましょう。これは、保護者とのよい雰囲気をつくるためのものです。

**POINT**  
 ここでは、パースデーチェーンを活用するようなゲームを各グループから1つ考えてもらいましょう。保護者同士をつなぐことをねらいとすることから、懇談会での雰囲気づくりの大切さを感じるようにしましょう。

- ・各グループより〇〇チェーンゲームの発表と全体での実施



各グループで、どんな〇〇チェーンができたか発表してみよう。そして、1つずつ全体で各グループが考えた〇〇チェーンのゲームを行ってみよう。保護者同士のつながり。保護者同士のよい雰囲気をつくるための方法を和やかにするよ。

**POINT**  
 ここでは、教師と保護者との雰囲気と保護者同士での雰囲気について話し合い、つなぐゲーム等が雰囲気づくりの1つの方法であることを感じるようにしましょう。ただし、時間の関係上、ゲームの内容についての深入りはしないようにしましょう。

### 3 活動②（話題設定カードによるシミュレーション）

（40分）

- (1) 話題設定カードによりテーマの設定
- (2) グループで懇談会の進め方について話し合い

懇談会の進め方は、次のことを留意して話し合ってください。それは、①傾聴・共感的理解「保護者の話を引き出し、共感的に聴くことができるか」、②自己開示「自分のことを話し、保護者が安心して発言できるようにしているか」、③自己主張「保護者に伝えるべき内容はきちんと伝えているか」です。



まず、各グループで懇談会の内容を話題設定カードを選択して決めます。次に、懇談会の進め方について各グループで話し合います。

**POINT**  
傾聴・共感的理解、自己開示、自己主張という3つの視点を提示します。①傾聴・共感的理解については、保護者の考えを聴き、話題について一緒に考えていこうとする態度、②自己開示については、懇談会で、ただ保護者に考えを求めるのではなくて、教師の自己開示から進めていくことで、保護者も安心して考えを述べられるというよさ、③自己主張については伝えるべき内容はしっかりと伝えることで保護者の信頼を得ることを説明しましょう。

- (3) 2つのグループでシミュレーションを行う。

懇談会の進め方について決まったら、役割を分担して、となりのグループと一緒にシミュレーションをしましょう。はじめにシミュレーションをするグループは進行側を、もう一つのグループは保護者役になって行いましょう。



**POINT**  
ここでは、となり同士で懇談会のシミュレーションを行います。そのときに、傾聴・共感的理解、自己開示、自己主張の3つの点から評価を行います。

#### (4) 各グループの発表



各グループに、3分以内で発表してもらいます。まず、Aグループからお願いします。・・・  
今度は、Dグループからお願いします。・・・  
ありがとうございました。  
それでは、懇談会での進め方について、各グループ聞いてみたいことや同じような意見や考えはありませんか。

#### POINT

発表してもらう際には、まず、同じ内容のことについて発表させ、その後、違う内容を発表させるとよいでしょう。そして、それぞれの発表について、聞いてみたいことや同じような意見や考えを発表させましょう。

質問や意見が出なければ、ファシリテーターがいくつか質問してみましょう。

### 4 全体での分かち合い

(10分)

#### (1) 研修全体を通しての感想



今日の研修を通して、感じたことや気付いたことを発表してもらいます。  
特に、学級懇談会についての研修方法等について発表してください。  
(指名をして数名に発表してもらう)

#### POINT

ファシリテーターは、受容的・共感的態度で発表を聴き、発表者には、感謝の意を込めて必ず、お礼のことばを述べる。

## 5 まとめ

(5分)

### (1) 雰囲気づくりを大切にした学級懇談会のポイント説明

学級懇談会についての進め方の留意点についてまとめます。一つ目は、聴くこと、二つ目は、自己開示、そして三つ目は、きちんと伝えることです。これらのポイントについて、もう一度振り返ってみましょう。



#### POINT

学級懇談会の進め方についてのポイントの説明については、重要なものとして先生方の発表からまとめましょう。

### (2) ファシリテーターからのコメント

今日の研修で、私が気づいたことや感じたことをお話しします。



#### POINT

ここでは、ファシリテーターをやってみての感想や研修全体の雰囲気などについて話してみましょう。

また、まとめとして先生方のまとめたものをもとに、保護者との信頼関係を高めていくためには、今日の研修のように、職員全体（組織）がよい雰囲気で話し合い等行うことや、常に教師と保護者、保護者同士の雰囲気をよくすることが大切であることなどを伝えましょう。



## 学級懇談会の基本ポイント

学級懇談会は、保護者の理解を得て、協力体制をつくるために双方向のよりよい関係をつくることです。学級懇談会は、学校、学年、学級の方針・取組や子どもたちの状況を全体に伝え、共通理解を図る場になります。また、学校や担任の考えを伝え保護者の意見をいただくことで、お互いの考えを深め、課題を共有し解決案を出し合うなど保護者が学校教育へ参画する機会となりますので、保護者との連携協力を図る上で重要な機会です。

教師と保護者がよりよい関係

### ア 教師と保護者とのよりよい関係

保護者が信頼、安心することは、子どもも安心する。

学校、学級の方針に対して、積極的に協力することで子どもに一貫した指導ができる。

### イ 保護者同士のよりよい関係

同じ悩みを共有することで、安心して子どもに対応できる。

保護者同士がよい関係を保つことができることは、子どもの人間関係をつくるモデルとなる。

#### ① 傾聴と共感的理解

#### ② 自己開示

#### ③ 自己主張

# 雰囲気づくりシート

「〇〇チェーンをつくりましょう」

○ どんなチェーン？

・名前（あいうえお順）

・電話番号（下4桁等）

・名前（アルファベット順）

・子どもの誕生日

等

（ ） チェーン

	活 動 と 内 容	留 意 点
導 入	1 ねらいの説明 2 デモンストレーション	○
展 開	3 〇〇チェーンの実施	○
ま と め	4 語り合い	○

### [話題設定カード]

- 家庭学習の習慣が身に付くのかどうか

#### [例]

学校から帰ってきて、家でテレビをよく見ている。テレビが終わったらゲームを始める。「勉強しなさい。」と言うと「このゲームが終わってからする。」「わかっているよ。うるさいから黙っていて。」と口答えされる。

### [話題設定カード]

- 習い事についてさせるべきかどうか

#### [例]

同じクラスの〇〇さんは、週に4日も習い事に行っているということである。プールにピアノ、もちろん学習塾にも……。うちの子も何かさせるべきかどうか。勉強のことも心配だし、せめて学習塾にでも行かせようかどうか悩んでいる。

### [話題設定カード]

- 親子の会話が少なくなっているが学校での様子が見えにくい

#### [例]

最近、めっきり家でしゃべらなくなっている。こちらが「何かあったのか。」「学校ではどうしているのか。」と聞いても、「うん。」「べつに。」といった状態である。学校の勉強はどうか、友達とはうまくやっているのか知りたいのだが……。